

1. 基本方針

保育制度の改正等に伴い、保育士の質の向上を目指した保育に努めると共に、地域での役割を担えるよう平成23年度の事業計画を立案していたが、原発事故により、利用児の激減と施設の避難、希望退職による職員の減により、計画した事業を実施することは困難な状況となった。

しかし、そのような状況下においても、実施できることを少しずつ取り入れ、保育の質を落とさないよう確認しつつ、「安心・安全な保育」に重視した保育に心掛けてきました。

2. 重点目標

(1) 保育の質の向上について

- ・ 保育個別計画作成の継続及び保育年間計画に基づき、月・週案の作成を継続して保育に取り組んできました。
- ・ 原発事故後、従来のような保育が実施できないなかでも、「どのように保育を展開して行くか」を常に考え取り組んできました。

(2) 環境設定について

- ・ 保育所が、子供達にとって「居心地の良い場」であることをモットーに、従来の保育所の環境に近づけられるように心掛けてきた。
- ・ 川俣町へ一時的に移転しているものの、その建物は、保育を目的とした建物では無かったことにより、衛生面の確保が最も苦慮した点であった。
(年内中に水回り等を含め大幅な改修にて充実が図られてきました。)
- ・ 「ハードよりソフト」を念頭に、できる限りの環境整備を行った。
- ・ 子供達中心の保育展開は、遊びたい玩具を自由に選べる環境を設定し、年齢に合った体験ができるよう努めてきました。

(3) 子育て支援について

- ・ 子育て支援センターを平成23年4月1日に開所し、子育て支援の拠点として展開する予定であったが、原発事故により開所できなかった。

《1年を振り返って》

- ・ 震災後15日目にして開所できたことは、働く保護者のための施設としての機能を担うことができたのではないかと思う。
- ・ 避難生活の慣れない環境と遠距離通所によりなかなか生活リズムが整わず、利用する子供達は朝食も摂れていない状況であったため、保育所で昼食時間を早めたり、午睡時間を個々に合わせるなどの配慮を行い、徐々に生活リズムを整えてきました。
- ・ 成長に伴い五感を培う時期でありながら、放射線量の問題により、日常的に行っていた散歩や自然探索等、屋外活動ができなかったことは、とても残念である。
- ・ 今後も、環境の変化に伴い様々なマニュアルの見直しを行い、少しでも「安心且つ安全」な保育を目指し、全体的な充実を図って行きたいと思います。

I 平成23年度 職員会議・給食会議・ケース会議実施報告

1) 職員会議

実施日 (参加者)	内 容	実施日 (参加者)	内 容
4/5 (8名)	・村の動きについて ・福祉会の取り組みについて	10/25 (6名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について
4/13 (9名)	・計画的避難に係る保育所の動向について ・保育の確認について・危機管理確認について ・業務の確認について	11/25 (6名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について
5/25 (6名)	・臨時保育所の今後の取り組みについて ・保育料について ・危機管理、衛生管理について	12/26 (6名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について ・職員増員に伴う保育業務について ・改修工事に伴う注意事項等について
6/22 (6名)	・利用児の動向及び家庭状況調査について ・勤務時間の確認について ・衛生面について ・保育及び業務の確認について	1/25 (7名)	・利用児状況 ・延長保育について
7/26 (6名)	・利用児状況について ・自己評価について ・保育及び業務の改善点について	2/24 (7名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について ・平成24年度事業計画について ・修了式について
8/25 (6名)	・利用児状況について ・保育及び業務の改善点について	3/23 (7名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について ・修了式の最終確認について ・新年度4月からのクラス編成と取り組みについて
9/27 (6名)	・利用児状況 ・保育及び業務の改善点について ・保育所改修について ・新入児入所に伴うクラス編成について		

2) 給食会議

実施日 (参加者)	内 容
4/14 (7名)	・今月の改善点 ・平成22年度保健所立ち入り改善点報告について
5/13 (6名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・保育所避難に伴う移設での調理について
6/14 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・第1回食育アンケートについて
7/14 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・8月の行事食確認について
8/11 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・9月の行事食確認について
9/16 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・牛乳の原産地確認について
10/11 (6名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・第2回食育アンケートについて
11/16 (6名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・温度調査について・ノロウィルス予防について
12/14 (6名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・食育アンケートの結果について
1/13 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・改修工事に伴う給食提供の休みについて ・温度調査について ・害虫駆除について
2/14 (7名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・0歳児入所に伴う、ミルク・離乳食の準備
3/14 (8名)	・先月の改善点の確認及び今月の改善点 ・検査簿記入の確認について ・ノロウィルスについて注意

3) ケース会議

毎月実施 → 新入所児、支援困難項目についての話し合いを行い共通理解して保育に当たる。

《1年を振り返って》

- ・職員会議： 原発事故前と同様に、毎月会議を実施し、保育業務の確認を徹底してきた。
- ・給食会議： 放射性物質問題により、給食提供の注意事項の確認をし、給食アンケートを2回実施、保護者の意見等も取り入れて取り組んできました。
- ・ケース会議： 保育個別計画を立案し、個々に対する接し方を共通理解して保育に取り組めるよう努めました。

※ 原発事故に伴い、子供の減少と職員の減少により、小規模保育所となったが、家庭的な個々の細部にわたった保育の充実が図れるよう各会議の中で周知していきました。

今後も、更に家庭的な雰囲気の中での保育が行えるよう努めて行きたいと思えます。

Ⅱ 平成23年度 やまゆり保育所利用状況

月	登録数	保育日数	延べ利用人員	1日平均利用人員
4月	6名	22日	95名	4.3名
5月	7名	23日	102名	4.4名
6月	8名	26日	132名	5.1名
7月	8名	25日	146名	5.8名
8月	8名	27日	144名	5.3名
9月	9名	24日	160名	6.7名
10月	10名	25日	143名	5.7名
11月	10名	24日	176名	7.3名
12月	9名	23日	135名	5.9名
1月	8名	23日	111名	4.8名
2月	8名	24日	127名	5.3名
3月	10名	26日	181名	7.0名
合計		292日	1,652名	5.7名
1ヶ月平均	8.4名	24.3日	137.6名	

Ⅲ 平成23年度 避難訓練・防犯訓練・交通安全教室実施報告

1) 避難訓練

実施日(参加者)	項目	内容
4/25 (6名)	避難訓練	火災・地震想定 ・非常時の合図を知る ・避難訓練の意味を知る
5/18 (5名)	避難訓練	火災想定 ・避難時の約束を守り、指示により避難する
6/24 (7名)	避難訓練	地震想定 ・地震に対する避難の仕方を知る
7/25 (6名)	避難訓練	火災想定(東側民家) ・遊びを中止し保育者の元へ集まる・屋外への二次避難の仕方を知る
8/24 (6名)	避難訓練	火災想定(午睡中) ・午睡中目を覚まし、指示に従い避難する
9/9 (9名)	避難訓練	火災想定「予告なし」 ・職員に予告なしでの避難を実施 ・落ち着いて避難する
10/25 (7名)	防災教室 消防署来所 指導	火災(北側民家)・避難訓練の指導 ・予告なしの非常合図を聞き保育者の所に集まり落ち着いて避難する ・火災の恐ろしさや、防火の大切さを知る
11/25 (6名)	避難訓練	火災想定(調理室より出火) ・保育者の指示に従い落ち着いて避難する ・保育士同士声を掛け合い敏速に避難する ・非常笛の音が避難時に集まる合図であることを知らせる ・煙が出ているときの避難の仕方を知る
12/27 (4名)	避難訓練	地震想定 ・非常の合図で午睡から目覚め保育者の元へ集まる
1/25 (8名)	避難訓練	火災想定(東側民家) ・防寒着を着用しての避難方法を知る
2/23 (6名)	避難訓練	火災想定(北側民家) ・保育者の元へ集まりスムーズに避難する
3/15 (9名)	避難訓練	避難訓練一年間の統括 ・火災や地震災害の恐ろしさと避難の仕方

2) 防犯訓練

実施日 (参加者)	項目	内 容
6/8 (5名)	防犯訓練	不審者が玄関より保育室を覗く想定 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話しを聞き指示に従える ・保育者の指示を聞き、速やかに安全な場所に移動するとともに防犯訓練の意味を知る
8/10 (7名)	防犯訓練	様々な不審時 <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人にはついて行かない ・緊急事態であることを知り、保育者の合図や指示に従い避難の方法を知る
11/7 (9名)	防犯教室	知らない人に連れていかれる 不審者が保育所に侵入する <ul style="list-style-type: none"> ・お巡りさんの話しをよく聞く ・不審者の対応を知る

3) 交通安全教室

実施日 (参加者)	項目	内 容
5/11 (5名)	交通安全教室	交通の決まりを知る <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居、ペープサートを用いて道路を歩く時の約束事を分かりやすく伝える
9/7 (7名)	交通安全教室	歩道の歩き方、横断の仕方を身につける <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の安全な歩き方、横断の仕方をペープサート等を用いて分かりやすく指導する ・信号の見方を知る

《1年を振り返って》

避難訓練： 避難訓練は従来どおり、毎月実施することができました。

川俣町南消防署員に来所して頂き、指導を受けることもできました。その中で、通報訓練は行えたものの、職員による消火訓練の実技を行うことができませんでしたので、次年度は実施したいと思います。

防犯訓練： 「不審者の侵入時の対応」及び「知らない人にはついて行かない」などを重点に指導してきました。

交通安全教室： 交通ルールを知る「信号の見方」や「道の横断の仕方」を重点に指導してきました。

例年であれば村より依頼があり、年2回のチャイルドシート着用調べを実施することで、保護者の意識も高まっていたと思いますが、今回は実施できなく残念であり、次年度は実施したいと思います。